

1.令和2年度事業報告

（この報告書は「公益財団法人茨城県開発公社定款」第24条第4項に基づき、理事長、専務理事及び常務理事の職務の執行状況の報告を兼ねるものとする。）

当公社は、公益財団法人として、雇用確保や地域振興に寄与し国民の幸福と利益の増進を図るべく各事業に取り組んできた。

創設60周年を迎えた令和2年度は、時代の変化に的確に対応し、引き続き公益法人として安定的かつ継続的な経営を確保していく上で重要な年度と位置付け、産業基盤整備という共通の目的を有する「公益財団法人茨城県企業公社」と合併し、新たな公益目的事業として「水道事業」を追加、さらなる財務基盤の強化等を図ったところである。

各事業においては、世界的な新型コロナウイルス感染症の広がりにより、業況が悪化したり、感染拡大防止のため営業上の制限を受けるなどの影響を受けたが、土地開発事業では2件の土地引き渡し及び1件の分譲契約を成立させ、水道事業などの受託事業や施設運営の指定管理事業についても、国・県等の指導に即した感染拡大防止策を講じながら、着実に履行することができた。

今後も、感染症対策を行いながら、ウィズコロナという事業環境の変化にも的確に対応し、より一層効率的に事業を推進するとともに、引き続き公益法人として安定的かつ継続的な経営を確保していくため、不断の努力をもって各事業に取り組むものとする。

【正味財産増減表抜粋】

（単位：千円）

		収益計	費用計	他会計振替	当期一般 正味財産増減額	正味財産 期末残高
R2決算		5,585,717	5,737,230	－	△ 151,513	9,271,474
公益目的事業	土地開発事業	2,694,260	2,562,440	－	131,821	5,296,916
	茨城空港旅客ターミナルビル事業	271,533	359,903	－	△ 88,370	67,936
	園地整備・管理事業	17,115	113,951	－	△ 96,836	△ 137,056
	水道事業	1,022,168	1,022,168	－	－	124,193
収益事業	宿泊施設・日帰り温泉施設事業	1,182,185	1,325,656	－	△ 143,471	646,921
	ビル管理事業	396,745	283,342	△ 10,000	103,403	3,657,259
	立地促進事業	9	27,970	－	△ 27,961	△ 130,291
法人会計		1,700	41,800	10,000	△ 30,099	△ 254,405
内部取引等消去		－	－	－	－	－
H31（R1）実績		5,123,569	5,079,811	－	43,758	9,310,206
H30実績		5,754,473	5,683,792	－	70,680	9,278,121

・収益計＝経常収入＋経常外収入 ・費用計＝経常費用＋経常外費用＋法人税・住民税等

・他会計振替＝収益事業の利益のうち概ね1/2を公益目的事業に振り替えている。

・数値は、表示単位未満の数値を四捨五入したので、計と内訳が一致しない場合がある。（以下同じ）

※正味財産期末残高については、指定正味財産期末残高を含む。

○事業別実績概要

【公益目的事業】

1 土地開発事業

【プロパー事業 団地処分等実績】

- ・下館第二工業団地において企業2社に計2.8haの処分を行い、当該工業団地は完売となった。
- ・稲敷工業団地にて、16.4haの分譲契約を企業と締結。（令和5年12月の土地引き渡しを目途とする。）
- ・南中郷工業団地及び東筑波新治工業団地にて、リース売り上げを計上した。
- ・南中郷工業団地及び茨城工業団地にて割賦販売代金を回収した。

契約締結日	企業名等	面積	団地名	処分形態
R3. 1. 27	兵庫木材(株)	1. 7ha	下館第二	新規
R3. 1. 29	三井不動産ワールドファーム(株)	1. 2ha	下館第二	新規
令和2年度計		2. 8ha		

※今年度末のプロパー団地残面積は、南中郷1区画（3.9ha）。稲敷1区画（3.9ha）については未取得。

【公共 団地工事等実績】

- ・茨城県の所有する9団地等の、用地取得、造成工事の施行及び企業誘致に関する協力支援までの一連の業務を受託している。茨城中央工業団地（Ⅰ期・Ⅱ期・笠間地区）にて造成工事、道路改良舗装工事及び雨水・上水整備工事を実施したほか、各公共工業団地において除草等の管理を実施した。

【代替地 処分実績】

- ・下妻市内の保有代替地1,514㎡を、隣接地権者に売却した。

【正味財産増減表】

（単位：ha・千円）

	R2決算	H31（R1）決算	前年比
工業団地処分面積	2. 8	4. 5	△ 1. 7
経常収益	2, 689, 067	2, 257, 503	431, 564
経常費用	2, 556, 937	2, 159, 280	397, 657
経常増減額 a	132, 130	98, 223	33, 907
経常外収益 ※1	5, 193	6, 957	△ 1, 764
経常外費用 ※3	5, 503	※2 2, 700	2, 803
経常外増減額 b	△ 309	4, 257	△ 4, 566
増減額計 a + b	131, 821	102, 480	29, 341
他会計振替	－	－	－
当期一般正味財産増減額	131, 821	102, 480	29, 341
一般正味財産期末残高	5, 199, 315	5, 067, 494	131, 821
指定正味財産期末残高	97, 601	99, 389	△ 1, 787
正味財産期末残高	5, 296, 916	5, 166, 883	130, 033

※1 代替地処分に伴う売却益。

※2 分譲済団地廃棄物除去費。

※3 代替地の減損損失及び固定資産除却損。

【プロパー事業 団地簿価】

	前期繰越高 (簿価)	令和2年度 増減額 (減損・造成等)	令和2年度 簿価減少分 (原価)	令和2年度 売却高 上段は売却益	その他要因 による増減	令和2年度末 簿価残高	
南中郷	38,830㎡ 118,681千円	- -	- 7,976千円	11,177千円 19,153千円	- -	38,830㎡ 110,705千円	
茨城	55,687㎡ 684,638千円	- -	※1 27,588千円	23,039千円 50,628千円	- -	55,687㎡ 657,050千円	
稲敷	- 202,901千円	250,632㎡ 474,425千円	- -	- -	- -	250,632㎡ 677,326千円	
鉾田西部	689㎡ 13,035千円	- -	- -	- -	- -	689㎡ 13,035千円	※2
緒川	3,013㎡ 2,139千円	- -	- -	- -	- -	3,013㎡ 2,139千円	※2
八千代	- -	- -	- -	- -	- -	- -	
下館第二	28,301㎡ 303,259千円	- -	28,301㎡ 303,259千円	228,741千円 532,000千円	- -	- -	
合計	126,520㎡ 1,324,652千円	250,632㎡ 474,425千円	28,301㎡ 338,823千円	262,958千円 601,780千円	- -	348,851㎡ 1,460,254千円	

※1 茨城工業団地の事業用定期借地契約の売上については、ファイナンスリースに該当するものと認識し、当期受取賃貸料ではなく土地売却収益として計上している。（簿価残は年度末残高に含まれている。）

※2 相続等により仮登記を本登記にできない分について手続き中であり、完了後に県に売却予定。

2 茨城空港旅客ターミナルビル事業

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、国際線の運休が継続しているほか、国内線についても一部減便・運休が発生し、搭乗者数は昨年度比で約57万人減の約21万人となった。
- ・航空便の運休・減便に伴う来場者の大幅な減少やターミナルビルの臨時休館（令和2年5月2日から6月11日までの41日間及び令和3年2月2日から2月28日までの27日間、計68日間）の影響により、搭乗者と見学者を合わせた来場者数は、昨年度比で約95万人減の51万人余りとなった。
- ・空港ビルの集客促進を図るため、感染症対策に配慮しながら茨城県や小美玉市と共催で各種イベントや空港見学会等を開催した。
- ・感染症対策として、来場者に安心して空港を利用いただけるよう、令和2年6月12日から国内線の旅客を対象に、県と連携してサーモグラフィーによる体温測定を開始した。
- ・「いばらきアマビエちゃん」の登録利用を促進するなど、新しい生活様式に対応した運営を進めた。（消毒液の設置、共用スペースの定期的な消毒作業、飲食スペースでのアクリルパーテーションの設置、座席の間引きによるソーシャルディスタンスの確保等。）
- ・ターミナルビル内のテナントについて、コロナ禍の影響で、3件の退去があったため、テナントの入居率が減少した。このため、新たなテナント誘致に向けて積極的な営業活動を行った。また、広告料収入確保のための営業活動にも積極的に取り組んだ。
- ・修繕計画に基づき、フライトインフォメーション制御装置、氷蓄熱機修繕工事及び入退室監視システム更新工事、手荷物計量器の新規導入等を行った。

【正味財産増減表】

（単位：人・千円）

	R2決算	H31（R1）決算	前年比
来場者数※1	514,900	1,464,700	△ 949,800
経常収益	271,533	404,751	△ 133,218
経常費用	359,903	398,967	△ 39,064
経常増減額 a	△ 88,370	5,784	△ 94,154
経常外収益	－	330	△ 330
経常外費用	0	※2 298	△ 298
経常外増減額 b	△ 0	32	△ 32
増減額計 a + b	△ 88,370	5,816	△ 94,186
他会計振替	－	－	－
当期一般正味財産増減額	△ 88,370	5,816	△ 94,186
一般正味財産期末残高	△ 2,614	85,756	△ 88,370
指定正味財産期末残高	70,550	78,160	△ 7,610
正味財産期末残高	67,936	163,916	△ 95,980

※1 来場者数＝見学者数＋搭乗者数

※2 固定資産除却損。

3 園地整備・管理事業

【涸沼園地】

- ・コロナ禍の影響により、例年行っているプール営業を全面休止とした。
- ・100名規模のグラウンド・ゴルフ大会を、チャンピオン大会含め、年間で10回開催した。また、10月と11月には、グラウンド・ゴルフ茨城県協会に協賛し、大会を実施した。
- ・10月と3月にいこいの村涸沼主催のスポーツウエルネス吹矢大会を開催し、協会認定研修所としてのPRを図った。
- ・7月と9月に中庭と多目的広場にてターゲット・バードゴルフ大会を開催した。
- ・7月～9月に「涸沼ビオトーププロジェクト（ミニ涸沼自然観察会・水辺の自然観察会）」を計3回開催、最大60名を集め、自然観察会や「ヒスマイトトンボ」の観察、ハゼ釣り体験等を行った。
- ・12月と2月に野鳥観察会を実施し、ラムサール条約登録湿地である涸沼における野鳥の観察を行った。

【伊師浜国民休養地】

- ・9月に予定していたグラウンドゴルフ大会は雨天中止となったが、カントリープラザにて代替イベントを開催した。
- ・感染対策のため、例年5月と9月に開催していたノルディック・ウォーキング体験会及び11月に開催予定であった「鵜の岬秋まつり」を中止とした。（「鵜の岬秋まつり」は2年連続で中止。）また、夏前に予定していたホテル観賞会についても中止となったが、宿泊客に羽化時期の案内は行い、各自鑑賞する形式とした。
- ・休養地内の環境維持のため、枯松伐採及びスイレン池のウッドデッキ腐食部分の補修を行った。
- ・令和元年10月の台風19号の影響で一部崩落していた基石ケ浦脇の遊歩道について、県予算により園路付け替え工事を実施した。

【正味財産増減表】

（単位：人・千円）

	R2決算	H31（R1）決算	前年比
グラウンド・ゴルフ人数	※1 11,156	16,649	△ 5,493
プー ル 入 場 者 数	0	29,312	△ 29,312
パ タ ー ゴ ル フ 人 数	785	1,399	△ 614
ス ポ ー ツ プ ラ ザ 人 数	930	3,400	△ 2,470
経 常 収 益	17,115	33,938	△ 16,823
経 常 費 用	113,207	164,237	△ 51,030
経 常 増 減 額 a	△ 96,092	△ 130,299	34,207
経 常 外 収 益	-	-	-
経 常 外 費 用	※2 744	-	744
経 常 外 増 減 額 b	△ 744	-	△ 744
増 減 額 計 a + b	△ 96,836	△ 130,299	33,463
他 会 計 振 替	-	50,482	△ 50,482
当期一般正味財産増減額	△ 96,836	△ 79,817	△ 17,019
一般正味財産期末残高	△ 141,847	△ 45,011	△ 96,836
指定正味財産期末残高	4,791	5,828	△ 1,037
正 味 財 産 期 末 残 高	△ 137,056	△ 39,183	△ 97,873

※1 グラウンド・ゴルフ人数、プール入場者数、パターゴルフ人数及びスポーツプラザ人数については、涸沼園地のみ集計。

※2 固定資産除却損。

4 水道事業

【浄水場の運転管理等業務】

- ・感染症対策として、新しい生活様式を実践し、勤務体制変更や一時的な在宅勤務の導入等を進めた。また、マスクや消毒用品の確保等を行うことにより、社内での感染及び拡大防止に努めた。
- ・県企業局所管の10浄水場における運転管理業務を実施した。
- ・毎月2回、管路の全ルート巡視を実施するとともに、弁類の分解・清掃を実施した。
- ・5月に霞ヶ浦と北浦の臭気原因物質が急上昇したため、活性炭接触池の切り替えを早めるとともに、粉末活性炭の注入を行う等により対応した。
- ・県企業局水質管理センター及び2浄水場にて水質管理・検査業務を実施した。
- ・霞ヶ浦浄水場における「新しい浄水処理技術の検証実験」の水質検査及び実験データの取り纏めを行った。
- ・那珂川浄水場における維持管理委託業務の設計積算・監督業務等を行った。

【水道工事監督補助業務】

- ・一時的な在宅勤務導入等、感染及び拡大防止に努め、県企業局管路更新（耐震化）事業における監督業務及び関係機関調整支援を行った。

【水道普及促進・啓発事業】

- ・今年度参加を計画していた市町村主催のイベントは、感染拡大防止のため、すべて中止となった。
- ・9月から11月に神栖、鹿嶋、鉾田市の小学校を対象とした水道出前教室を6回開催した。また、水道出前教室に申し込んだ13校すべてに水道水ボトルドウォーターを配布した。
- ・水海道浄水場や鹿島浄水場の高度浄水処理水を使用した水道水ボトルドウォーター3万本を製造した。
- ・水道普及啓発用品として子ども向け啓発用パンフレットを作成した。
- ・11月に市町村水道事業担当者研修会を開催した。

【正味財産増減表】

(単位：千円)

	R2決算 ※1
経 常 収 益	1,022,168
経 常 費 用	1,022,168
経 常 増 減 額 a	－
経 常 外 収 益	－
経 常 外 費 用	－
経 常 外 増 減 額 b	－
増 減 額 計 a + b	－
他 会 計 振 替	－
当期一般正味財産増減額	－
一般正味財産期末残高	94,193
指定正味財産期末残高	30,000
正 味 財 産 期 末 残 高	124,193

【参考：企業公社決算数値合算】※2

(単位：千円)

R2年4月～R3年3月	R1年度企業公社決算
1,430,288	1,523,402
1,430,218	1,523,388
70	14
－	－
0	0
△ 0	△ 0
70	14

※1 R2年7月合併時から（第2四半期以降）の実績。第1四半期分は企業公社決算として報告。

※2 第1四半期の企業公社決算分を合算した参考数値及びR1年度企業公社決算数値。

【収益事業】

1 宿泊施設事業

【宿泊施設事業の合計正味財産増減表】

・国民宿舎「鵜の岬」と、いこいの村潤沼の数値を合算している。(単位：人・千円)

	宿泊者数	収益計	費用計	増減額計	他会計振替	正味財産期末残高
R2決算	51,960	994,419	1,137,781	△ 143,362	-	634,042
H31 (R1) 実績	93,283	1,664,713	1,655,132	9,582	△ 3,409	777,315
増減	△ 41,323	△ 670,294	△ 517,351	△ 152,944	3,409	△ 143,273

(1) 国民宿舎「鵜の岬」事業

○感染症対策関連

- ・コロナ禍の拡大に伴い、県による緊急事態措置の一環として休業要請を受け、4月18日～5月17日の30日間を臨時休館とした。また、1月から2月にかけての「県独自の緊急事態宣言の発令」の影響を受け客数が減少したため、4日間を休館とした。
- ・本館玄関に体温計及びサーモカメラを設置し、入館時に全員の検温を実施した。
- ・「いばらきアマビエちゃん」の登録利用を促進するなど、新しい生活様式に対応した運営を進めた。(フロント・喫茶カウンター及びレストラン等夕食席に、飛沫防止の亚克力板を設置。)
- ・休館や客数の減少に伴う従業員への休業手当の支給に際し、雇用調整助成金の助成を活用した。
- ・収益の改善に資するため、茨城県より県有施設管理業務支援金を受領した。

○イベント関連

- ・5月に従業員による伊師浜海岸のビーチクリーン活動を行った。
- ・11月に日上市発祥のスポーツである「パンポン」体験会を実施した。
- ・12月にねりきり(和菓子作り)体験会・テーブル茶道体験会を開催した。

○営業活動関係

- ・5月18日～7月13日の約2か月間、弁当のテイクアウト販売を行った。(587食)
- ・7月に国民宿舎協会による宿泊利用率の発表があり、31年連続日本一となった。
- ・7月20日～8月31日の間、県の宿泊促進事業「いばらき応援割」を活用し、延べ233人を誘客した。(ひとり5,000円引き。補助総額117万円。)
- ・Go Toトラベルキャンペーンへ参画すると共に特別メニューを開発し、収益の向上を図った。
- ・9月7日～10日まで4日間休館し、法定点検及び5階客室の一部改修工事及び3階～5階のWi-Fi設置等を行った。また、2月に2日間休館し、館内法定点検等を行った。

【正味財産増減表】

(単位：日・人・千円)

	R2決算	H31 (R1) 決算	前年比
営業日数	325	357	△ 32
宿泊定員利用率	60.1%	82.9%	△ 22.8P
宿泊人数	39,867	59,800	△ 19,933
その他利用者数	43,898	105,951	△ 62,053
経常収益	774,789	1,084,962	△ 310,173
経常費用	821,189	1,112,842	△ 291,652
経常増減額 a	△ 46,401	△ 27,880	△ 18,521
経常外収益 ※1	9,797	29,391	△ 19,594
経常外費用	0	314	△ 314
経常外増減額 b	9,797	29,077	△ 19,280
増減額計 a + b	△ 36,604	1,197	△ 37,801
他会計振替	-	△ 426	426
当期一般正味財産増減額 ※2	△ 36,659	716	△ 37,375
一般正味財産期末残高	575,688	612,348	△ 36,659
指定正味財産期末残高	-	-	-
正味財産期末残高	575,688	612,348	△ 36,659

※1 原発賠償金 9,797千円(最終受取年度)。

※2 法人住民税56千円差引き後。

(2) いこいの村廻沼事業

○感染症対策関連

- ・コロナ禍拡大による国・県の緊急事態宣言、営業制限等の影響により、利用者は大幅減となった。これに伴い、延べ117日を臨時休館とした。
- ・本館玄関に体温計及びサーモカメラを設置し、入館時に全員の検温を実施した。
- ・「いばらきアマビエちゃん」の登録利用を促進するなど、新しい生活様式に対応した運営を進めた。（フロント・喫茶カウンター及びレストラン会計窓口に、飛沫防止の亚克力板を設置。）
- ・休館や客数の減少に伴う従業員への休業手当の支給に際し、雇用調整助成金を活用した。

○イベント関連

- ・季節毎に、地元銚田産のメロンとスイカを宿泊者限定で提供した。
- ・夏季期間(令和2年7月18日から8月31日まで)の宿泊客に対し、花火のプレゼントとアイリスパークを利用したイベント「廻沼ナイトウォークツアー」を開催した。
- ・11月に第20回廻沼環境フォーラムに協賛、フォトコンテストにおいて「いこいの村廻沼賞」を提供した。

○営業活動関係

- ・5月から6月のコロナ禍による休館中に、弁当宅配を行った。
- ・7月からGOTOトラベル事業等の観光支援事業を活用し、延べ人数6,908人を誘客した。また、当該事業用に、宿泊プランのコースを見直し、顧客満足の向上を図った。
- ・7月17日～8月31日の間、県の宿泊促進事業「いばらき応援割」を活用し、延べ185人を誘客した。（ひとり5,000円引き。補助総額約90万円。）
- ・9月3日～10月1日の間、銚田市宿泊推進事業を活用し、延べ200人を誘客した。（ひとり5,000円引き、補助総額100万円）
- ・11月からレストラン「憩」新メニュー(鰻重、上海老天重)を開始した。
- ・消防訓練及び館内法定点検のため、9月13日～16日の4日間を休館とした。

【正味財産増減表】

(単位：日・人・千円)

	R2決算	H31 (R1) 決算	前年比
営 業 日 数	244	348	△ 104
宿 泊 定 員 利 用 率	36.4%	70.7%	△ 34.3P
宿 泊 人 数	12,093	33,483	△ 21,390
そ の 他 利 用 者 数	11,960	47,189	△ 35,229
経 常 収 益	206,581	540,605	△ 334,024
経 常 費 用	316,554	541,659	△ 225,105
経 常 増 減 額 a	△ 109,973	△ 1,054	△ 108,919
経 常 外 収 益 ※1	3,252	9,756	△ 6,504
経 常 外 費 用	38	317	△ 279
経 常 外 増 減 額 b	3,214	9,438	△ 6,224
増 減 額 計 a + b	△ 106,759	8,385	△ 115,143
他 会 計 振 替	-	△ 2,983	2,983
当期一般正味財産増減額 ※2	△ 106,814	5,346	△ 112,160
一般正味財産期末残高	58,153	164,967	△ 106,814
指定正味財産期末残高	200	-	200
正 味 財 産 期 末 残 高	58,353	164,967	△ 106,614

※1 原発賠償金 3,252千円。(最終受取年度)

※2 法人住民税56千円差引き後。

2 日帰り温泉施設事業(日立市鶴来の湯十王)

○感染症対策関連

- ・日立市の感染症対策の方針に則り、令和2年3月5日～5月24日までの81日間及び令和3年1月9日～2月21日までの44日間を臨時休館とした。営業開始時に、粗品（タオル・マスク）の配布を行った。
- ・7月14日から市の費用負担により本館玄関にサーモカメラを設置し、入館時に全員の検温を実施した。
- ・「いばらきアマビエちゃん」の登録利用を促進するなど、新しい生活様式に対応した運営を進めた。

○営業活動関係

- ・スイーツデー（毎週火・金）のスイーツ配布及び風呂の日（毎月26日）の粗品配布を継続して行った。
- ・65歳以上を対象としたシルバー割引を継続し、利用の拡大を図っている。

【正味財産増減表】

(単位：日・人・千円)

	R2決算	H31 (R1) 決算	前年比
営 業 日 数	243	266	△ 23
利 用 者 数	62,622	121,967	△ 59,345
経 常 収 益	187,766	233,791	△ 46,025
経 常 費 用	187,764	233,789	△ 46,025
経 常 増 減 額 a	2	2	0
経 常 外 収 益	－	－	－
経 常 外 費 用	－	－	－
経 常 外 増 減 額 b	－	－	－
増 減 額 計 a + b	2	2	0
他 会 計 振 替	－	△ 1	1
当期一般正味財産増減額	2	1	1
一般正味財産期末残高	12,879	12,877	2
指定正味財産期末残高	－	－	－
正 味 財 産 期 末 残 高	12,879	12,877	2

3 ビル管理事業

○感染症対策関連

- ・感染症対策として、公社ビル各出入口5箇所にサーマルカメラを設置すると共に、共用部(出入口、エレベーター前、各階男女トイレ)に消毒液を設置した。
- ・会議室において、受付テーブル、演台及び司会者台への飛沫防止の亚克力板の設置を行うと共に、利用者への非接触体温計の無料貸し出しを行った。
- ・「いばらきアマビエちゃん」の登録利用を促進するなど、新しい生活様式に対応した運営を行った。

○営業活動関係

- ・公社ビルの賃料収入増加を図るため、令和2年5月から2階中会議室(125.44㎡)を賃貸に転用した。
- ・利用者の利便性向上を図るため、4階喫煙所跡を同フロアの大会議室の控室へと改修し、利用料金を見直した。(令和2年7月1日から運用開始。会議室利用料金を2,000円(税別)増額した。)
- ・公社ビルの空室対策として、ホームページのテナント募集ページを見直し、閲覧者に分かりやすい掲載内容とした。(入居メリット記載及び写真・図面の添付等)

【正味財産増減表】

(単位：千円)

	R2決算	H31 (R1) 決算	前年比
公 社 ビ ル 入 居 率	※1 91.8%	97.2%	△ 5.4P
会 議 室 稼 働 率	※2 18.5%	30.0%	△ 11.5P
経 常 収 益	396,745	431,090	△ 34,345
経 常 費 用	282,432	297,134	△ 14,702
経 常 増 減 額 a	114,313	133,957	△ 19,643
経 常 外 収 益	-	-	-
経 常 外 費 用	※3 839	1,641	△ 801
経 常 外 増 減 額 b	△ 839	△ 1,641	801
増 減 額 計 a + b	113,474	132,316	△ 18,842
他 会 計 振 替	※4 △ 10,000	△ 97,073	87,073
当期一般正味財産増減額	※5 103,403	35,172	68,231
一般正味財産期末残高	3,657,195	3,553,792	103,403
指定正味財産期末残高	64	81	△ 17
正 味 財 産 期 末 残 高	3,657,259	3,553,873	103,386

※1 公社ビル入居率は年度末数値。

※2 会議室の稼働率は、午前・午後・夜間で算出。

※3 固定資産除却損。

※4 10,000千円を、法人会計の運転資金として振り替えた。

※5 法人住民税71千円差引き後。

4 立地促進事業

- ・企業の要請に基づき、土地買収から設計・造成等の開発、分譲までを一貫して行っている。
- ・つくば明野北部工業団地拡張②（猫島地区）においては、令和3年6月の引渡しに向け、造成工事を進めた。
- ・つくば明野北部工業団地拡張③（田宿拡張）においては、企業からの要請を受け、地権者との用地交渉を進めた。
- ・産業用地の取得を推進するため、代替地の取得・売却を行った。

【正味財産増減表】

(単位：ha・千円)

	R2決算	H31 (R1) 決算	前年比
工業団地処分面積	-	-	-
経常収益	9	89,881	△ 89,872
経常費用	27,970	111,877	△ 83,907
経常増減額 a	△ 27,961	△ 21,995	△ 5,966
経常外収益	-	-	-
経常外費用	-	-	-
経常外増減額 b	-	-	-
増減額計 a + b	△ 27,961	△ 21,995	△ 5,966
他会計振替	-	-	-
当期一般正味財産増減額	△ 27,961	△ 21,995	△ 5,966
一般正味財産期末残高	△ 130,291	△ 102,330	△ 27,961
指定正味財産期末残高	-	-	-
正味財産期末残高	△ 130,291	△ 102,330	△ 27,961

【収益・立地促進事業簿価】

	前期繰越高 (簿価)	令和2年度 増減額 (減損・造成等)	令和2年度 簿価減少分 (原価)	令和2年度 売却高 上段は売却益	その他要因 による増減	令和2年度末 簿価残高見込
つくば明野北部 拡張②	219,549㎡ 1,932,342千円	12,942㎡ 1,976,788千円	- -	- -	11,616㎡ -	244,106㎡ 3,909,130千円
つくば明野北部 拡張③	- 13,522千円	40,871㎡ 326,727千円	- -	- -	- -	40,871㎡ 340,249千円
団地合計	219,549㎡ 1,945,864千円	53,813㎡ 2,303,515千円	- -	- -	11,616㎡ -	284,977㎡ 4,249,379千円

【法人会計】

- ・管理業務に関する収益・費用や、その他の法人全般に係る、公益目的事業・収益事業に区分できないものを表示する。

【正味財産増減表】

(単位：千円)

	R2決算	H31 (R1) 決算	前年比
経 常 収 益	1,700	2,375	△ 675
経 常 費 用	41,800	41,386	414
経 常 増 減 額 a	△ 40,099	△ 39,011	△ 1,088
経 常 外 収 益	－	261	△ 261
経 常 外 費 用	－	15,211	△ 15,211
経 常 外 増 減 額 b	－	△ 14,950	14,950
増 減 額 計 a + b	△ 40,099	△ 53,961	13,862
他 会 計 振 替 ※1	10,000	50,000	△ 40,000
当期一般正味財産増減額	△ 30,099	△ 3,961	△ 26,138
一般正味財産期末残高	△ 259,050	△ 228,950	△ 30,099
指定正味財産期末残高 ※2	4,645	5,806	△ 1,161
正 味 財 産 期 末 残 高	△ 254,405	△ 223,145	△ 31,260

※1 運転資金として、ビル事業から10,000千円を振り替えた。

※2 ソーラー街路灯設置補助金。

○その他の受託事業の実績

受託事業の実績は次表のとおりである。

(単位：千円)

委託者	受 託 事 業 名	事業	受 託 額	受 託 内 容
茨 城 県	茨城空港駐車場管理	空港	18,121	監視カメラ・放送設備による駐車場の誘導案内及び巡回警備等
	駐車場整理等		4,729	
	茨城空港公園トイレ管理		1,092	空港公園のトイレ管理
	公園事業地管理		13,137	空港公園の管理
	伊師浜国民休養地	園地	9,686	休養地内及び施設設備の維持管理
	水道工事監督補助	水道	32,394	水道工事監督補助業務
	水道啓発		4,479	企業局水道普及啓発業務
	浄水場運転管理		984,502	浄水場運転管理業務等
日立市	日立市鶴来来の湯十王管理	温泉	187,764	温泉施設の管理運営
合 計			1,255,903	

○資金の借入れ状況

借入金の実績は次表のとおりである。

(単位：千円)

区 分	前 年 度 繰 越 金	期 中 借 入 増 減 額	令 和 2 年 度 末 残 高
土地開発事業			
(市中金融機関借入金)	0	－	0
茨城空港旅客ターミナルビル事業			
(長期・一年内返済茨城県無利子借入金合算)	2,344,472	△ 167,547	2,176,925
立地促進事業			
(市中金融機関借入金)	800,000	1,350,000	2,150,000
合 計	3,144,472	1,182,453	4,326,925

○理事会、監事会、評議員会及び登記事項

事 項	年 月 日	概 要
理 事 会	令和2.5.29	下記の件を決議した。 ・役員報酬の増額変更について ・令和元年度事業報告及び決算の承認について ・公益財団法人茨城県開発公社諸規程の一部改正について ・令和2年度第1回評議員会の開催について ・会計監査人の報酬について ・評議員及び役員の選任について 下記の件を報告した。 ・コロナ禍の影響及び対策状況について ・工業団地の状況について
	令和2.7.1	下記の件を決議した。 ・代表理事1名選定の件について ・副理事長1名選定の件について ・副理事長1名選定の件について ・専務理事1名選定の件について ・常務理事1名選定の件について ・常務理事1名選定の件について ・常務理事1名選定の件について ・使用人職務の委嘱の件について ・専務理事の報酬額の件について ・常務理事の報酬額の件について ・常務理事の報酬額の件について ・常務理事の報酬額の件について
	令和2.11.27	下記の件を決議した。 ・第2次基本計画の一部改正について ・評議員の選任について ・会計監査人の報酬額の変更について ・令和2年度第2回評議員会の開催について 下記の件を報告した。 ・令和2年度上半期事業実績報告 ・旧公益財団法人茨城県企業公社第1四半期事業実績報告 ・令和2年度下半期の経営方策 ・コンプライアンスの状況報告
	令和3.3.23	下記の件を決議した。 ・令和3年度事業計画及び収支予算について ・諸規程の一部改正について ・資金の運用について ・役員の選任について ・令和2年度第3回評議員会の開催について 下記の件を報告した。 ・工業団地の状況について

事 項	年 月 日	概 要
監 事 会	令和2.5.20	・各種法令・定款の遵守状況について ・内部監査等の状況について ・後発事象及び会計方針等(継続性)の変更の有無・内容について ・対前年度比較で差額の大きな勘定科目について ・財産状況について ・事業報告の適切性について ・会計監査人に対する相当性判断
	令和2.11.18	・第2次基本計画の一部改正について ・評議員の選任について ・会計監査人の報酬額の変更について ・令和2年度上半期事業実績報告 ・旧公益財団法人茨城県企業公社第1四半期事業実績報告 ・令和2年度下半期の経営方策 ・コンプライアンスの状況報告
評議員会	令和2.6.30	下記の件を決議した。 ・令和元年度決算の承認について ・評議員及び役員の選任について 下記の件を報告した。 ・令和元年度事業報告について ・コロナ禍の影響及び対策状況について ・工業団地の状況について
	令和2.12.8	下記の件を決議した。 ・評議員の選任について 下記の件を報告した。 ・令和2年度上半期事業実績報告 ・令和2年度旧公益財団法人茨城県企業公社第1四半期事業実績報告 ・令和2年度下半期の経営方策 ・第2次基本計画の一部改正について
	令和3.3.29	下記の件を決議した。 ・令和3年度事業計画及び収支予算について ・役員の選任について 下記の件を報告した。 ・工業団地の状況について

事 項	年 月 日	概 要
登記関係	R2.6.30	・評議員辞任 稲見 真二 渡邊 政美 岩間 伸博 飯村 泉太郎 ・評議員就任 海老原 淳 黒羽 晋 関 武志 山中 博 岩佐 武 堀川 滋 内海 真生 矢口 みどり ・理事及び代表理事退任 今瀬 肇 ・理事退任 小泉 元伸 佐藤 守弘 野上 昭雄 知神 寛治

事 項	年 月 日	概 要
登記関係	R2.6.30	・理事重任 植崎 明夫 染谷 森雄 平塚 弘之 大山 登志彦 山口 伸樹 ・理事就任 澤田 勝 稲見 真二 池畑 直美 茅根 継雄 蓮見 孝 風見 晴夫 岡部 和彦 鬼澤 正美 ・会計監査人重任 有限責任監査法人 ひばり ・監事退任 池畑 直美 ・監事就任 石毛 光子 武弓 美恒
	R2.7.1	・理事及び代表理事就任 小善 真司
	R2.12.8	・評議員辞任 岩佐 武 ・評議員就任 多田 賢太郎

○役職員等構成(令和3年4月1日現在)

役員及び監事(16名)

(単位:名)

理事長	副理事長	専務理事	常務理事	理事	監事
1	2	1	3	7	2

評議員(14名)

職員(381名)

(単位:名)

	県派遣	常銀・市派遣	※プロパー	アドバイザー・参与	嘱託	臨職	計
本社	6	4	38	3	8	3	62
東京			2		2		4
空港	1		3		6		10
鵜の岬			36		20		56
涸沼			13		10		23
鵜来来の湯			3		5		8
水道事業所			59		153	6	218
計	7	4	154	3	204	9	381

※ 本社:県OB職員8名、プロパー執行役員1名を含む 水道:県OB職員9名を含む